



勉強をやる気になせるには、どうしたらいいの？ 続き

「漢字を10回ずつノートに書きなさい」という課題も、女の子なら難なく取り組めても、一部の男の子には続けるのが難しくなります。

もちろん、こつこつくり返りする勉強は効果がありますが、単調な勉強は男の子にとっては、「退屈でめんごー」なのです。

また、小学生でも勉強がだんだん難しくなって、わからなくなると、勉強が嫌いになってくる子が増えてきます。

そうなる前に、手を打たなくてはなりません。どうすればいいのでしょうか。

小学生は本来、勉強が好きです。

勉強して新しいことを習うのは楽しいし、賢くなれると、子どもたちは知っています。

普通、子どもは勉強して賢くなりたいと思っています。

そして、できれば楽しく学んで賢くなりたいと思っていますのです。

勉強のやり方も、ちよつと工夫をすれば、おもしろく楽しくできます。

学校の授業だけでなく、家庭でもできることがあります。

勉強をおもしろいと思うようになれば、しめたもの。

男の子の意欲に火がついて、自分から勉強をやりだします。



第3章 男の子の学力を伸ばす家庭学習のヒント

前述の「漢字を10回ずつノートに書きなさい」という漢字練習も、やり方によってはおもしくることができます。

例えば、「漢字の自己練習・自己テスト」方式。

漢字練習は、ただ単に漢字をノートのマス目に埋めるだけでは意味がありません。

目的は、漢字を覚えること(読んで書くこと)です。

そこで、**練習回数は自分で決めさせ、何回か練習して、「もう覚えた」という自信がつけば、自分でテストさせるのです。**

テストのやり方は、前に練習した漢字を紙で隠して、ノートの次のマス目に見ないで書かせるだけです。

間違えずに書ければ合格！

ならば、10回も書く必要はありません。

もし間違えていれば、

「間違えた漢字だけ、もう3回練習してから、再チャレンジね」

というように決めておきます。

すると、もっと集中して、短時間で漢字を覚えられるようになります。

男の子にとっては、ただ機械的に練習するだけでなく、「全部覚えた」「合格した」という達成感があるので、チャレンジする学習のほう楽しいのです。

男の子の場合、勉強でも運動でも「練習→チャレンジ→達成感」のサイクルのうち、チャレンジの部分にウエートを置くと、ワクワク感をもってやる気を出します。



練習ばかりより、チャレンジさせて楽しく！